

独創的 服飾デザイン

名古屋学芸大 栄で卒業制作発表



学生のアイデアが光る、独創的な作品が披露された発表会＝栄のナディアパークで

名古屋学芸大(日進市)のファッション造形学科の学生による「第十一回卒業制作発表会」が二十三日、栄のナディアパークであった。

今春卒業を控えた学生約七十人が参加したファッションショーでは、卒業論文で扱ったテーマを基に創作したドレススタイルやジャケットスタイルなどの

七十四作品が披露された。幻想的なBGMとともに、赤や緑、青などの照明が照らし出すランウェイを、プロのモデルら二十一人がさっそくと歩いて作品を紹介。ショーの最後に学生が登場すると、約四百五十人の観客から温かい拍手が送られた。

和服の構成を洋服に応用し、直線のみでの型紙を使ってスカートなどをデザインした木村瑞希さん(三)は「四年間自分がどれだけ成長できたかを見てもらえたので笑顔で話した。出品作の一部は、提携校のドイツ国立ブフオルツハイム大で開催されるショーでも披露する予定。」